

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.12

令和5年7月発行



社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設

「みちのく療育園メディカルセンター」
〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの
〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」

・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

『いつものように』



常務理事
鈴木 長幸

「新しい年度もいつものようにスタートしました」。ありふれた文頭のフレーズですが、“いつも”とは“いつ”と比べてのことかと、ふと考えてしまいました。

新型コロナウイルス感染症への社会の前向き志向と、病原体の存在自体は変わっていない現実との間で、感染対策の継続が推奨される（求められる）という福祉事業者にとっては何とも悩ましい状況下での運営となっています。

この3年に及ぶコロナ禍はすべての人々、立場に様々な影響をもたらしました。私たち福祉・医療事業関係者が一番とは言いませんが、それまでの意識や運営の仕方がかなり試されました。福祉サービス提供の役割を果たすべく役職員が一体となって工夫に努める中で、当たり前ということは実はそうではなかったり、できないと思っていたことが別の方法でできたりという多くのことを学びました。また、利用者・ご家族様のご理解、ご協力の有難さも一層感じました。一方、従来行ってきた方法でなければ利用者さんの満足につながらない、言い換えれば福祉サービス事業者として容易に変えられない「宿命」も利用者様との様々な場面で痛感しました。

しかし、考えてみると、この宿命は「使命」と裏腹の関係です。この間に得たことを一過性とすることなく、使命が職員の「やり甲斐」となり、利用者・ご家族様の「笑顔」につながるよう、業務改善に努めていきたいと思えます。

今年度、社会福祉法人新生会は設立40周年の節目を迎えました。また、令和2年度に作成した中長期経営計画（令和3年度～令和8年度）の前半（3年目）が経過します。進捗状況の中間評価と後半に向けた具体的実施事項及び行程のとりまとめが今年度の目標です。

また、昨年度、6事業拠点（法人本部、相談事業所しんせいを除く）において福祉サービス第三者評価を受審しました。利用者・ご家族様をはじめ地域に満足していただける福祉サービスの一層の向上に向けて、その結果について課題を明確化し改善に向けた取組を推進してまいります。

今後も“いつものように（従前と変わらない）”ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



社会福祉法人新生会・障害者支援施設新生園

創立40周年記念行事

～ 輝く命展 ～

期日 9月15日(金)～9月19日(火)

会場 矢巾町活動交流センター やはぱーく

矢巾町花いっぱい運動

矢巾町から花苗を提供していただき、利用者さんと一緒に施設の周りやプランターにマリーゴールドやサルビアの苗を植えました。

プランターは新生会の各施設や日頃お世話になっている近隣の事業所にも配り、お花を楽しんでもらっています。



令和5年度 新卒職員紹介



西村 星那
みちのく療育園メディカルセンター
生活支援員



鈴木 碧巴
新生園
生活支援員



千倉 紗那
第二新生園
生活支援員



松坂 祐太
第二新生園
生活支援員

法人本部事務局



主任書記
高橋 奈津子

新型コロナが5類となり、法人本部事務局の2階会議室では、久しぶりに集合型の研修会が増えました。聞こえてくる職員同士の「お疲れ様でーす!」の明るく元気な声。以前の光景が戻ってきたなあと嬉しく感じています。

令和5年度がスタートし、法人本部事務局の最初の大きな業務は決算です。各事業所の会計入力本部が行っているの、緊張感が漂

います。

決算が確定すると、理事会及び評議員会の開催準備です。各事業所の皆さんの頑張りが詰まった令和4年度の事業報告も合わせてご承認をいただくため、会議資料は膨大になります。ちなみに第1回理事会の会議資料は、2.3cmの厚さがありました。

法人本部事務局の職員は、利用者様との直接の関わりよりも、様々な職種の職員との関わりが主となります。私の仕事も、職員の採用や退職に関わる手続き、職員の給与支給関係等を行っています。法人本部事務局の業務は多岐にわたるため1人でやっている業務もありましたが、コロナ禍を経験し、誰がいつ休んでも業務が滞ることがないように「複数で業務を行う」体制づくりにより一層力を入れています。私も、今年4月に仲間入りした石橋書記と共に、1つ1つの業務を確認しながら日々励んでいます。石橋書記は、声のトーンが一段と高く、明るく接して下さる方で「明るい法人本部」を心掛けている私達には強い味方です。



障害者支援施設 新生園

当園では、就労継続支援B型の印刷科と洗濯科、そして生活介護科の3科に分かれて日中活動を提供しています。

印刷科は、在籍利用者が5名と少ないですが、繁忙期は協力し合って乗り切り、落ち着いた時には昼食会や買い物外出等で息抜きを行いながら、日々頑張っています。

洗濯科は、企業や施設から毎日洗濯物を回収・納品しており、利用者の皆様には様々な作業工程を、障がいやその日の健康状態に合わせて取り組んでいただいています。

生活介護科は、主にウエスやラグマットの作製等を行っていますが、最近はボードゲームを使っの頭の体操、散歩や振動マシーンを使っの運動がブームです。また季節ごとの行事も楽しんでいます。

どの科でも利用者の皆様は生きがいを持って活動しています。それを絶やすことがないよう利用者お一人おひとりに寄り添い、様々な分野からお手伝いさせていただけることが新生園の強みです。そして!利用者の皆様も職員も開放的でとにかく明るい!!事業所です。新生園にご興味が湧いた方は是非、お気軽に見学にいらしてください♪



主任生活支援員
川村 真知子



第二新生園の主任という立場になり3年経ちました。『主任業務』としての役割は現場における業務全体や想定される出来事などについて、上司に相談をしてスタッフの方々が円滑に業務を行っていただけるように調整する存在ではないかなと思います。

日々の生活支援、介護業務それぞれの個別支援計画の目標を達成させていくために支援の要となり、職員の良い雰囲気を作るために率先した挨拶やちょっとした話題に触れるコミュニケーションを心がけています。また、各々のスタッフがリーダーシップを発揮できるようにあえて多く声がけせずに見守り、困った場面があった際はチームで解決できるように会議などで提言をしています。



主任生活支援員
齊藤 幸生

交代勤務となる入所の夜勤業務では、一定の決められた支援が求められます。そのためにチームアプローチによる支援として、申し送り文書の回覧なども実施しています。第二新生園の強みは気軽に相談の窓口を開いていることです。私の性格上、自分から話し掛けることは苦手な方でしたが、相談しやすい雰囲気作りや、積極的なコミュニケーションを意識するようになりました。

コロナ禍でも、今年度から少しずつではありますが外出等緩和されてきています。利用者支援をこれまで以上に充実させていくため、新人職員の育成、行事等の通常開催ができるよう法人の基本方針に沿った運営を目指し、スタッフ一丸となって盛り立てていければと考えています。



主任保育士兼
生活支援員
稲垣 美華

みちのく療育園メディカルセンターは、入所57名、通所11名の方にご利用いただいています。年齢は、10代～70代の幅広い年齢層です。

今回は、入所と通所で取り組んでいる療育活動について紹介いたします。

まずは、入所です。感染対策をしながらの活動となり、以前のような大きい活動は難しくなっています。それでも、利用者様の楽しみを日々模索しています。天気の良い日には、外気浴でシャボン玉をしながら季節を感じていただいています。ホールでは、ボウリング大会や誕生会を企画して、日常に活気ができるように取り組んでいます。その他、生活の中でも、個々の能力が活かせるように、食事の自力摂取や歩行器での室内散歩を提供しています。

続いて、通所では、日常の身近なことをテーマにしたゲーム活動に力を入れています。マクドナルドゲームでは、インターフォンを使って、玄関がドライブスルーに大変身しました。また、利用者様の反応が良い童謡をゲームとして取り入れ、耳で聞いて、目で見て、手に取って感じられるように工夫しています。

毎日、メンバーが変わるので、同じゲームでも、いつも違う表情を私達に見せてくれます。

利用者様と活動できる時間は、入所、通所共に限られてはいますが、一緒に楽しい!を共感できることを大切にしていきたいと思っています。



バジル(良い香り)両手に
遠い目をする私…ああ



主任就労支援員兼
定着支援員
田中 ひとみ

多機能型施設 ワークセンターむろおか

～○○があればなんでもできる～

※○○には自分に合った言葉を入れてね☆

四季折々の風景を大きな窓から見渡すことが出来る施設の中に入ってみると…

『こんにちは～』と笑顔でお出迎え。『お客さんだよ』とお声があり玄関に行くといない～』『来たと思ったのに～』といった声が元気に聞こえてくる多機能型施設ワークセンターむろおか。施設の中を見渡すと!大きなテーブルが並びその上には大量のフルーツ

キャップやワイン用キャップが待っています。ミシンの踏む音、箱を折る音、布を切る音が響きます。奥の部屋からは『ガチャガチャ』と何か崩れる音の後に『ワイワイ』と楽しそうな声が聞こえてきます。お昼の休憩時には麻雀も楽しんでもすよ。新生園2階の厨房ではスタッフ、利用者の皆さんが力を合わせ食事作り。包丁の使い方、配膳のセッティングも早く上手になりましたね～。その後、車でエコレストランあいののへ移動。ここでも利用者の皆さんが掃除や盛り付け、配膳と忙しそうに働いています。『ん～お腹が空いたな～』定食、ピザもあり、気持ち安らぐ音楽が印象的な作業訓練施設です。オツ!紹介が遅くなりました。私は主任就労支援員兼定着支援員の田中ひとみです。私は就職を希望する利用者の皆さんの、一人では難しい場面のサポートや実習先の確保も含め職場開拓、関係機関との連携、生活面での困りごとなど相談支援や職場定着に向けた支援を行っています。皆さん!

○○なワークにぜひ遊びに来てください!



ジャラジャラと牌の音が響く昼休憩(笑)



そお～つと…崩れないように～(°Д°)

多機能型事業所

あさあけの園



総務支援課長として、個別支援計画やサービス管理責任者業務等デスクワークの他、送迎や利用者さん対応など、現場での仕事も行っていきます。



総務支援課長
千葉 美香

あさあけの園はパンや菓子類の製造と販売を行っています。店舗もあることから地域の方々と交流があり、就労継続支援B型と生活介護の運営を行っている事で利用者さんもお互いに、様々な方々と活動する事が可能です。また、「明るく、楽しく、元気よく」の「生活目標」があり、朝の会で唱和しています。ただ漠然と朝の会を行いそれぞれの作業や活動へ移るのではなく、この生活目標があり唱和する事で「今から、作業、活動するぞ!」の合図または気持ちを切り替えるスイッチとなっています。職員である私も日々の生活の中で「疲れたなあ」と思っているてもこの言葉を声にする事で気持ちの切り替えに役立っています。

職員は勤続年数に長短はありますが、お互いが良い刺激を与え受けられる職場環境となっています。

この4月から共同生活援助事業所「新生ホーム」に異動になりました。新しい環境で、以前と違う業務を行うことに不安を感じていましたが、これまでお世話になった施設の利用者の皆さんもおり、声をかけていただけることに安堵感を覚えながら、業務に励んでいます。



主任生活支援員
阿部 雄一



新生ホームでは6月現在4つのグループホーム(室岡、中島、第二中島、見前)を運営しており、定員34名に対して33名の方がご利用されています。また、日々の支援では、利用者さん個々の自立を目指し、皆様に喜んでいただける良質なサービスが提供できるように、支援員と世話人が協力し合って支援を行っています。

私がこの数ヶ月で感じたグループホームの強みは、世話人の皆さんが中心となって作り上げている家庭的な雰囲気だと思います。温かい料理はもちろん、いつも優しい眼差し、何気ない会話、相談しやすい親身な姿勢等、利用者さんの穏やかな表情や寛いでいる姿から見ても、安心して落ち着いた生活が送られていることが分かりました。それ以外にも「遊生会」と称した余暇活動は、ホームならではの内容で、過去には県外への旅行やコンサートにも行ったようです。利用者の方からはとても好評で、ホームの強みと感じました。今後は、これらの強みをさらに伸ばし、それ以外にも強みを増やしていけるように、利用者さんと世話人、支援員と一緒により良い生活を作り上げていきたいと思っています。

障害者地域生活支援センター しんせい



主任相談支援専門員
吉田 清久

しんせいは現在、7人のメンバーが在籍しており、相談支援専門員6名、書記1名体制で運営しています。

しんせいの業務は主に、矢巾町や紫波町を中心とした地域で障がいのある方々の相談に対応し福祉サービスや関係機関への調整、サービス等利用計画の作成等の仕事をしています。また、紫波町と矢巾町から委託を受け、「紫波地域障がい者基幹相談支援センター」も運営し障がいに関する総合相談窓口として、地域の相談支援体制を調整し障がい者理解のための啓発活動も行っています。



相談支援の仕事の内容は個々に完結しやすい反面、抱え込みやすい業務でもあるため、互いの業務を共有し、様々な視点で考え、支え合うことを大切にしています。また、福祉サービスだけでは補い切れない世代を超えた相談などが多岐に渡ることから、それぞれの力を総動員し解決を目指すなど試行錯誤の毎日です。

そのため、プライベートや休日のONとOFFの切り替えを大切にしています。子育てに奮闘するママ相談員からキャンプと食を求めて日々アンテナを張っている相談員。地元のサッカーチームを応援しながらポケモンで相談者と盛り上がる上司。プライベートであっても、どれも無駄なく相談支援に生きていて感じています。

ちなみに、私の趣味は山登りで、今年は再び岩手山に登ることが現在の目標です。そのため通勤はなるべく歩くように心がけています。

相談者の気持ちと意思決定を大切に、この街に住んで良かったと思っただけの地域づくりをしんせいのお仕事で今後も展開したいと思っています。



新生園、ワークセンターむろおか、あさあけの園

今年の新たな取り組みとして、ご当地メニューを月一回のペースで提供しています。

今まで提供したことがないご当地メニューに加え、普段食べている料理が、実は〇〇県のご当地料理であったことを知っていただく機会にもなると思い企画しました。

新生園の食堂前ホールに日本地図を掲示し、その場所に印と提供写真を貼り付けて、全国制覇を目指します。



第二新生園

5月29日(月)に電気工事で停電のため、防災委員が中心となり、非常食の炊き出しを防災訓練と兼ねて実施しました。

- 梅じゃこごはん(アルファ米)
- いわしの旨煮(缶詰)
- 《献立》 ●うの花炒り煮(レトルト)
- ヨーグルト
- 野菜ジュース(缶)

第二新生園では、主食の食形態は「ごはん」「軟飯」「お粥」の方がいますが、非常時ということで、ごはんとお粥で対応しました。また、おかずは、発電機を使用しミキサー食のみを作り、他の方は、提供時に関わった職員がほぐしたり、キッチンばさみで対応しました。職員も少し味見をして非常食体験を行いました。

みちのく療育園メディカルセンター

みちのく療育園メディカルセンターでは月々の行事食の他、普段と一味違った雰囲気のお食事を楽しんでいただきたいという思いで月に数回、食材の記念日や料理の記念日に合わせたメニューを提供しています。また、その他にも祝日や都道府県、世界の国などをテーマにした献立を実施しております。例えば・・・3月31日は山菜の日で「山菜鶏蕎麦」(写真掲載)、6月3日はアジの日で「アジの梅煮」を、6月9日は卵の日で「親子丼」を提供しました。

6月13日はプチ韓国フェアということで「ヤンニョムチキンチーズソースかけ」を提供しました。お食事も楽しい思い出の1つにさせていただけるよう、今後も工夫していきたいと思ひます。



【令和4年度】 社会福祉法人 新生会 苦情・要望 対応状況

令和4年度、各事業所にお寄せいただいた苦情・要望の総数は、苦情4件、要望9件でした。コロナ禍の中でのサービス提供についての苦情や要望を多くいただきました。

種類	件数	職員の対応	サービスの内容	施設の設備・環境	説明・情報提供	その他
苦情	4	3	0	0	0	1
要望	9	0	5	2	0	2

※詳細に関しましては、新生会ホームページをご覧ください。

各事業所では、お寄せいただいた苦情・要望を真摯に受け止め、事業所内で情報を共有、丁寧な説明を行うことで解決に努めてまいりました。また、事業所毎に苦情解決第三者委員会を開催し、苦情や要望の内容を報告し、助言をいただいております。

【令和4年度】社会福祉法人 新生会 決算報告

◎貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	911,062,436	流動負債	140,121,682
固定資産	2,514,935,310	固定負債	240,817,837
		負債の部合計	380,939,519
		純資産の部	
		基本金	351,764,846
		国庫補助金等特別積立金	429,099,983
		その他の積立金	345,763,500
		次期繰越活動増減差額	1,918,429,898
		純資産の部合計	3,045,058,227
資産の部合計	3,425,997,746	負債及び純資産の部合計	3,425,997,746

◎事業活動計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,484,222,550
	サービス活動費用	1,439,167,273
	サービス活動増減差額	45,055,277
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	4,545,771
	サービス活動外費用	660,545
	サービス活動外増減差額	3,885,226
経営増減差額		48,940,503
特別増減の部	特別収益計	1,521,779
	特別費用計	1,675,837
	特別増減差額	△ 154,058
当期活動増減差額		48,786,445
繰越増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,928,833,453
	当期末繰越活動増減差額	1,977,619,898
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	800,000
	その他の積立金積立額	59,990,000
	次期繰越活動増減差額	1,918,429,898

エコレストラン あいのの

新メニュー

うどん・そば 始めました!

あいのの
そば or うどん



おにぎり・おしんこ付
各 600円

うどんセット



単品のほか、
天ぷら、デザートがつく
セット(900円)もあります。
お気軽にご来店くださいませ♡

満腹感間違いなし!

IBCラジオ・チャリティーミュージックソン
「通りゃんせ基金」様より
「製氷機」をご寄附いただきました。

皆様からの善意を大切に使用させていただきます。

ありがとうございました☆



令和5年度 矢中町パラスポーツイベント

障がいがある方もない方も、誰もが一緒に楽しめる
「パラスポーツイベント」を開催します。競技の体験とともに、
障がいのある方のデモンストレーションも行います。

令和5年

日時 9月16日(土) 10:00~12:00 矢中町民総合体育館

参加
無料

内容 ボッチャ、卓球バレー



《問い合わせ先》

紫波地域基幹相談支援センター(TEL019-601-2805)

caféあさあけ

夏季限定



※撮影用に半分にしており、販売形状は丸です。(写真右上)

さわやかフルーツ&チーズクリーム

180円(税込)

リンゴとオレンジピール入りの、
チーズクリームを合わせた
冷やしてもおいしいパン♡
ショーケースで冷やして、
皆さんの御来店をお待ちしております。

アイスコーヒ

200円(税込)

編集後記

～HIKARE～12号を手にとっていただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」へと移行となり、今まで制限をしていた外出や全体行事等を徐々に企画しています。これまでの感染対策を継続しながら、これからの行事を利用者の皆様と一緒に楽しみたいと思います。

さて、今回の各事業所紹介の記事は、これまでと視点を変えて現場の最前線で活躍する職員にお願いしました。新しい事業所の魅力が伝わりましたでしょうか。(G.T)

詳しい情報は、ホームページで

社会福祉法人 新生会



<https://www.i-shinseikai.jp/>